

# 再発した鬱病が効かない理由

東洋鍼灸院 田中俊男

はじめに：鬱病に関しては先月書いた。  
初診時に治療が効いたのに、再発時に全く効かなかった症例を報告したい。

検査：

	2010/6/26	2010/7/10	2010/7/10	2012/5/3
	初診時	薬無し	EPA-α 中国パセリ ウコン ビオフィェルミン	再発
Serotonin	1μ g	13μ g	15μ g	1μ g
Telomere	10ng ↓	20ng	50ng	10ng ↓
Acetylcholine	100μ g	300μ g	700μ g	10μ g ↓
Aluminium	30mg	10mg ↓	→	≡0
Mercury	10mg	10mg ↓	→	0.5mg ↓
β -Amyloid	1ng	1ng ↓	→	→
Amygdala	-2	-2	4	-6
Stress	-6	-1	3	-6
胸腺	1	→	-2	6
胃	0	→	→	-6
大腸	-3	→	4	-2

- 治療法：
1. 物忘れて来院されたが、頭のCytomegalo virusを診て、鬱病と判断、専門医に回す。
  2. 重金属沈着やAcetylcholine、胸腺、大腸などの問題をそれぞれ中国パセリ、ウコン、ビオフィェルミンなどで適量を調べ、対応する。
  3. 2週間後にはほぼ戻り、本人も仕事に集中できるとのこと。
  4. 2年ぶりに再発。仕事が忙しく中国出張があるという。
  5. 数値的には初診時と大きく変わらないが、胃の(-6)が気になり、対応するが反応せず。
  6. 1ヶ月後に再診したが全く今回は効果がないという。データも5/3と殆ど同じ。
  7. 胃の問題とdrug uptake enhancement methodに気がつき、胃の内視鏡を薦める。
  8. 胃炎との診断そして、投薬、頭の鍼、drug uptake enhancement method再開にて緩解。

考察：以前から胃腸に問題があると鬱病は治りにくいことは指摘していたが、drug uptake enhancement methodと共に鬱病治療には「胃腸治療」と「薬を患部に届かせる」はblood-brain barrier(BBB)があることを踏まえておかななくてはならない。

